津波警報・注意報の分類

	発表される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表（予想される津波の高さ区分）	巨大地震の場合の発表		
大津波警報（特別警報）	10m 超（10m ＜ 最大波の高さ）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や丈夫で高い建物など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるため、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m（5m＜最大波の高さ ≦ 10m）			
	5 m（3m＜最大波の高さ ≦ 5m）			
津波警報	3 m（1m＜最大波の高さ ≦ 3m）	高い	「ここなら安心」と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう	標高の低いところでは津波が襲い浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1 m（20 ㎝ ≦ 最大波の高さ ≦ 1m）	（表記しない）	海の中にいる人はただちに海から上がって海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり、海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、小型船舶が転覆し、養殖いかだは流失します。

◆津波と洪水の避難情報の違い

雨量など時間とともに段階的に危険度が高まる洪水や土砂災害等と異なり、津波は地震発生後短時間で襲ってきます。このため、危険な地域から一刻も早く避難する必要があるため、「高齢者等避難」は発令せず、基本的には「避難指示」のみが発令されます。

津波に関するサイレンや放送が鳴った場合

避難指示

（津波の場合は「避難指示」のみ発令）

防災情報の確認

◆坂井市防災行政情報

坂井市では、防災行政無線をはじめとする防災情報の伝達手段を「命を守る、防災情報を伝えるツール」として活用し、防災・防犯・感染症等の緊急情報や災害情報を市民の皆さまに直接お知らせしています。ご家族とご自身の安全・安心のために、確認・登録をお願いします。

防災行政無線　防災行政メール　音声一斉配信　防災アプリ　Jアラート　緊急速報メール　坂井チャンネル　市ホームページ/SNS

※「防災行政メール」、「音声一斉配信」、「防災アプリ」は事前の登録が必要です。

その他防災情報サイト

坂井市ホームページ（坂井市）
避難情報などの災害情報を確認できます。

坂井市ハザードマップ・各種マニュアル（坂井市）
市内の洪水、地震等の災害別のハザードマップが確認できます。

福井県防災ネット（福井県）
県内の市町ごとの避難情報、雨量などの情報を確認できます。

重ねるハザードマップ（国土交通省）
周辺の災害リスクを地図上に重ね合わせて確認できます。

お問い合わせ先　坂井市総務部危機管理対策課
〒919-0592　福井県坂井市坂井町下新庄第１号１番地　電話番号：0776-50-3525
メールアドレス：kikikanri@city.fukui-sakai.lg.jp

令和６年３月作成

坂井市保存版

津波ハザードマップ

もくじ Contents

P5～

津波ハザードマップ

P5　全域図
P6　①二の部・三の部・四の部
P7・8　②一の部・二の部・東部・木部
P9　③雄島（宿・米ケ脇）
P10　④雄島（米ケ脇・安島）
P11　⑤雄島（安島）
P12　⑥新保
P13・14　⑦雄島（崎・梶・浜地）
P15・16　⑧浜四郷・木部
P17・18　⑨テクノポート福井

● 津波について
● 津波ハザードマップの使い方
● 浸水深と基準水位の違い
P1～2へ

● 避難行動について
● 安否確認の方法
P3～4へ

● 津波警報・注意報の分類
● 防災情報の確認
P19（裏表紙）へ

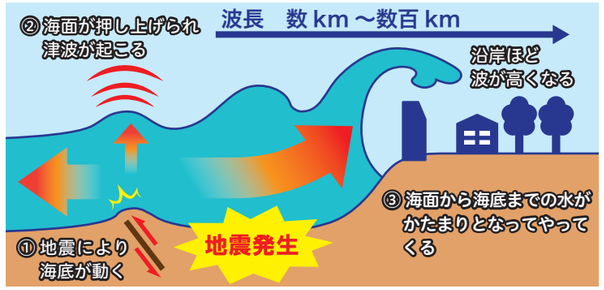
津波ハザードマップについて

この津波ハザードマップは、津波が発生した場合、坂井市沿岸部がどの程度浸水するおそれがあるかをお知らせする地図です。ご家庭内の目の届くところに常備していただき、ご家庭や地域内にて避難の際にご活用ください。

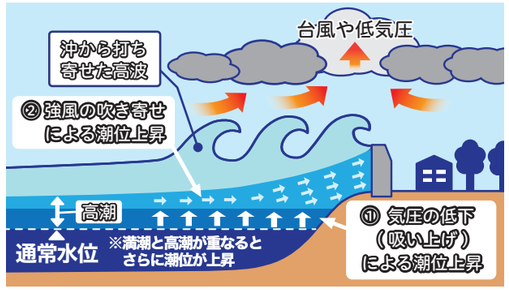
津波について

津波は、海底で発生した地震によって、海水全体を押し上げ、大きな波となって伝わります。波浪や高潮は風や低気圧によって、海面がうねる現象ですが、津波は海水全体が動き、海面も上下に変化します。波浪の波長（波の山から山、または谷から谷の長さ）は数メートル～数百メートル程度なのに対して、津波は数キロメートル～数百キロメートルと非常に長いのが特徴です。

津波 地震などで海水全体が動き、海面に波が生じる現象



高潮 低気圧や強風によって海面が上昇する現象

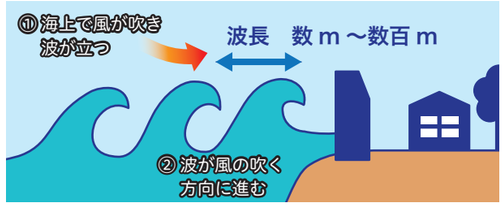


＜過去に福井県に来襲した津波＞

地震の名称	規 模	福井県での津波記録
新潟地震（1964）	M7.7	三国 0.36m、敦賀 0.46m
日本海中部地震（1983）	M7.7	三国 1.2m、高浜 1.9m
北海道南西沖地震 (1993)	M8.8	福井港 0.9m、敦賀港 0.9m

出典：福井県「福井県における津波シミュレーション結果について」
〈参考１〉過去に福井県に来襲した津波　平成 24 年９月

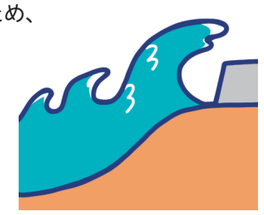
波浪 海上で吹く風により波が生じる現象



津波の特徴

◆津波の性質と他の波との違い

津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、沖合ではジェット機の速さに匹敵します。逆に、水深が浅くなるほど速度は遅くなり、陸地に近づくにつれ、減速した波が前の波に追いつくため、波高（波の高さ）は高くなります。
また、津波によっては引き波が無く、いきなり大きな波が襲ってくることもあります。



◆繰り返し襲ってくる

津波は繰り返し襲ってきます。また、第１波が最大とは限りません。（例：令和６年能登半島地震（2024）では、敦賀港にて第１波到達の約３時間後に最大津波を観測※）

※気象庁「令和６年能登半島地震」について（第５報）

◆津波は川をさかのぼる

津波は海岸だけではなく、河口から侵入し、川の上流に遡上（逆流）することもあるため、海の近くの川沿いも注意が必要です。

◆津波の威力

１～２mある津波は木造家屋を全壊、流出させる威力があります。また、引き波は特に流れが強く、波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。

津波ハザードマップの使い方

1. マップを見て、自宅が津波や土砂災害の区域内か確認しましょう
2. 避難する場所を確認しましょう
   ⇒自宅に一番近い避難場所や安全な高台等を確認しましょう

津波一時避難場所
津波の危険から緊急的に避難するための安全な高台や場所
例：神社境内や駐車場

指定緊急避難場所
市が災害ごとの安全性等を考慮して指定する、安全を確保するための場所
例：小・中学校グラウンド

指定避難所
市が規模及び設備等を考慮して指定する、被災者が生活するための公共施設
例：小・中学校

3. 避難経路を決めましょう
   ⇒危険な場所やものを避け、複数の避難経路を考えましょう

【危険な場所・危険なものの例】
- ブロック塀
- ガラス張りの建物
- 古い建物
- 道幅の狭い場所
- 津波災害警戒区域や土砂災害警戒区域等
- 河川
- がけや、落石のおそれ等があるところ
- 大きな看板

4. 実際に自宅から避難場所まで歩き、避難経路や避難に必要な時間を確認しましょう

避難するときに注意する区域

地震等により津波が発生するときに、一緒に注意したいのが、揺れにより山の斜面が崩れる「土砂災害」です。津波からの避難経路を考えるときは、土砂災害警戒区域等にも注意が必要です。

「土砂災害警戒区域等」
土砂災害のおそれのある区域を「**土砂災害警戒区域（イエローゾーン）**」といいます。また、イエローゾーンの中でも、災害が発生した時に建物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を「**土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）**」といいます。

「津波災害警戒区域」
最大クラスの津波が発生した際に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域のことです。

※ハザードマップ上で色がついていない場所は、シミュレーション上は浸水しない場所ですが、地震の規模や地震による海岸施設の被災状況等によっては、マップに示されない場所でも浸水する可能性があります。また、水位も想定より高くなる場合があります。

浸水深と基準水位の違い

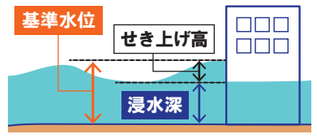
津波による浸水の深さには「浸水深」と「基準水位」があります。本紙では、津波からのより安全な避難につなげていただくため、建物等への津波の衝突によるせき上げ高を加えた「基準水位」を掲載しています。

◆浸水深

浸水域の水面から地面までの高さのこと。

◆基準水位

浸水深に、建築物への衝突によるせき上げ高を加えた水位のこと。浸水深よりも、津波から避難する際の安全な高さが明確となる。



※本紙に示す基準水位は、福井県が令和５年２月に指定した「津波災害警戒区域図」によるものです。
また、本紙には、平成 24 年福井県独自浸水想定ラインを掲載しています。

平成24年福井県独自浸水想定ラインとは？
日本海西部に発生する津波について、国による断層調査が実施されていなかったことから、国が調査結果を示すまでの間の措置として、平成 24 年に福井県が独自の方法で条件設定を行い、シミュレーションしたものです。参考情報として掲載しています。

避難行動について

地震発生時は、まず身の安全を確保し、テレビやラジオなどで「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」の発表の有無を確認しましょう。
「大津波警報」、「津波警報」が発表されたときは、津波災害警戒区域外の津波一時避難場所や安全な高台へ、徒歩による「水平避難」することが基本です。もし、逃げ遅れたときは、近くの丈夫な建物の３階以上へ避難する「垂直避難」を行いましょう。

緊急地震速報

地震発生　**まず身の安全を確保!!**

情報収集　**複数の手段で情報収集**　※津波の速報は地震発生から約３分後

テレビ　広報車　ラジオ　メールなど　防災行政無線

避難は原則徒歩で!!
揺れを感じなくても、注意報、警報が発表されたり、市からの避難指示が発令されたらすぐに避難！徒歩で避難、戻らない
※避難行動支援者や避難場所までの距離が遠い地域の方は車での避難が可能です

大津波警報・津波警報が発表
避難指示が発令

逃げ遅れた場合

停電などで情報が得られない場合

津波のおそれがない場合

大火災が発生している場合

水平避難（基本）
徒歩で津波災害警戒区域の外へ
●津波一時避難場所
●指定緊急避難場所
●近くの安全な高台など
避難場所や安全な高台などをハザードマップでチェック

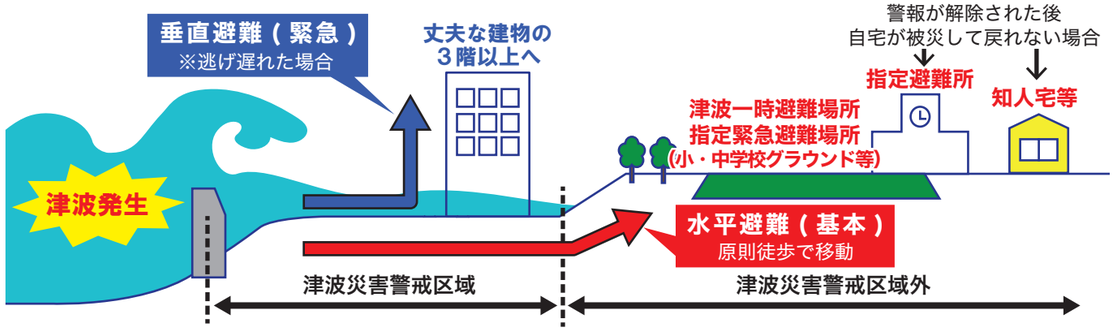
垂直避難（緊急）
丈夫な建物の３階以上へ
津波は長時間水が引かないことがあり、垂直避難は孤立、津波火災等の二次災害にあう可能性があるため、できるだけ水平避難をこころがけましょう

●海岸や河口の近くには近づかない
●津波は何度も襲ってくるので、警報・注意報が解除されるまで警戒を続ける

一時（いっとき）避難場所へ
地震発生直後はあわてずに、区や自主防災組織が指定する一時（いっとき）避難場所に避難しましょう

指定緊急避難場所へ
地震発生直後は、火災が多発・拡大する場合があるため、指定緊急避難場所になっている小・中学校グラウンド等へ避難しましょう

自宅に戻れない場合
指定避難所や知人宅等へ
災害の状況が落ち着いた後、倒壊などで自宅へ戻れない場合は被害のおそれがない指定避難所（避難所）や知人宅などへ避難しましょう



屋外での津波避難

海岸付近や屋外にいて強い揺れや長いゆったりとした揺れを感じた場合は、大津波警報、津波警報、津波注意報を待たずに直ちに近くの安全な高台や避難場所、あるいは高い建物へ徒歩で避難しましょう。津波は最初に海面が引くとは限りません。海面が引かない時でも油断はできません。

◆防災行政無線

市全域には屋外用の防災行政無線が設置されています。防災行政無線からサイレンや音声が聞こえたら、速やかに避難しましょう。もし、聞き逃した場合は、放送内容を文字化した防災行政メールや防災アプリ等で配信しています。

※ 防災行政メールや防災アプリ等は、事前に登録しないと届きません。

防災行政メール

防災、防犯、感染症等の情報をＥメールでお手元の携帯電話にお知らせするサービスです。
※ 登録の際は、迷惑メール設定で bousai-support@app01.infoaxis.jp を指定受信登録してください。

防災アプリ

台風や大雨などで避難指示等が発令された場合のプッシュ通知や、避難施設マップ、避難マニュアルなどが確認できるサービスです。
福井県警察本部の「リュウピーネット」とも連携し、「犯罪情報」等を自動配信します。

津波避難の心構え

●強い地震（震度４以上）の揺れ又は弱い地震でも長い間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸や川の河口近くから離れ、急いで安全な場所に避難してください。

●地震を感じなくても、津波に関する注意報・警報が発表されたときは、海水浴や磯釣りなどのレジャー等を中止し、直ちに海岸や川の河口近くから離れ、急いで安全な場所に避難してください。

●近くの安全な高台やビルなど、より高い場所、より丈夫な建物へ避難してください。

● 津波は長期間にわたり繰り返し襲ってくるので、津波に関する注意報･警報が解除されるまでは、避難した場所から絶対に戻らないでください。

安否確認の方法

「災害用伝言ダイヤル 171」

登録された伝言情報を、家族や親戚、知人などが確認できる災害時限定のサービスです。災害時に電話が混み合っていても「伝言」という形で安否を伝えることができます。

伝言を**録音**する　伝言を**再生**する
171 をダイヤル
↓ 音声案内に従う
録音の場合は **1**　再生の場合は **2**
↓ 音声案内に従う
自分の電話番号をダイヤル（※市外局番から）　相手の電話番号をダイヤル（※市外局番から）
↓ 音声案内に従う
録　音（30 秒以内）　再　生

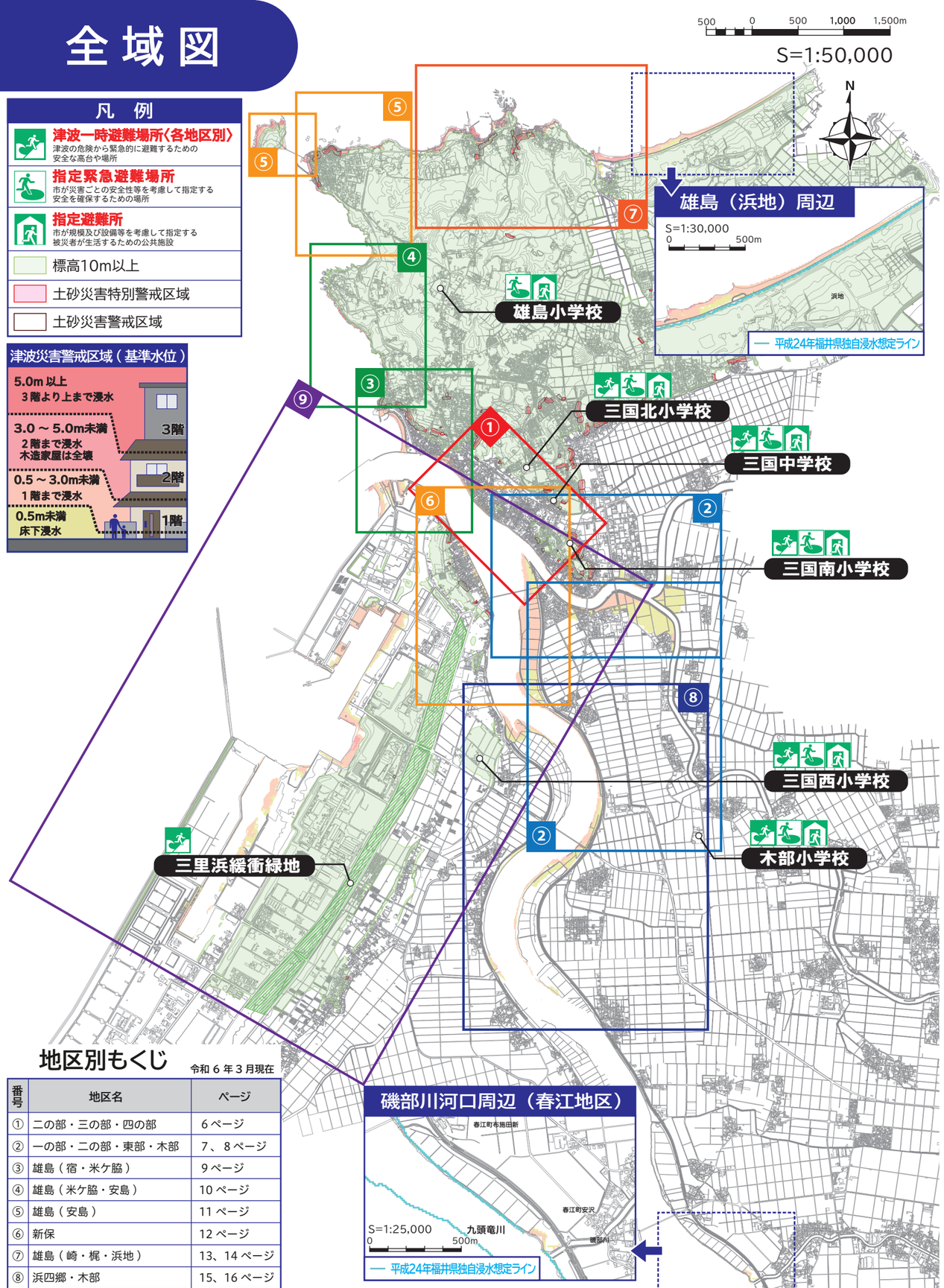
「災害用伝言板（web171）」

インターネットを通じて、被災地の方の安否確認を行うサービスです。伝言を伝えたい人の通知先を設定し、伝言を通知できます。また、海外からの確認、伝言の登録も可能です。

携帯電話会社の伝言サービス

携帯電話会社でも、災害発生時に安否確認に利用できるサービスを提供しています。（各サービスの詳細についてはご利用の携帯電話会社のホームページ等をご確認ください）

全 域 図



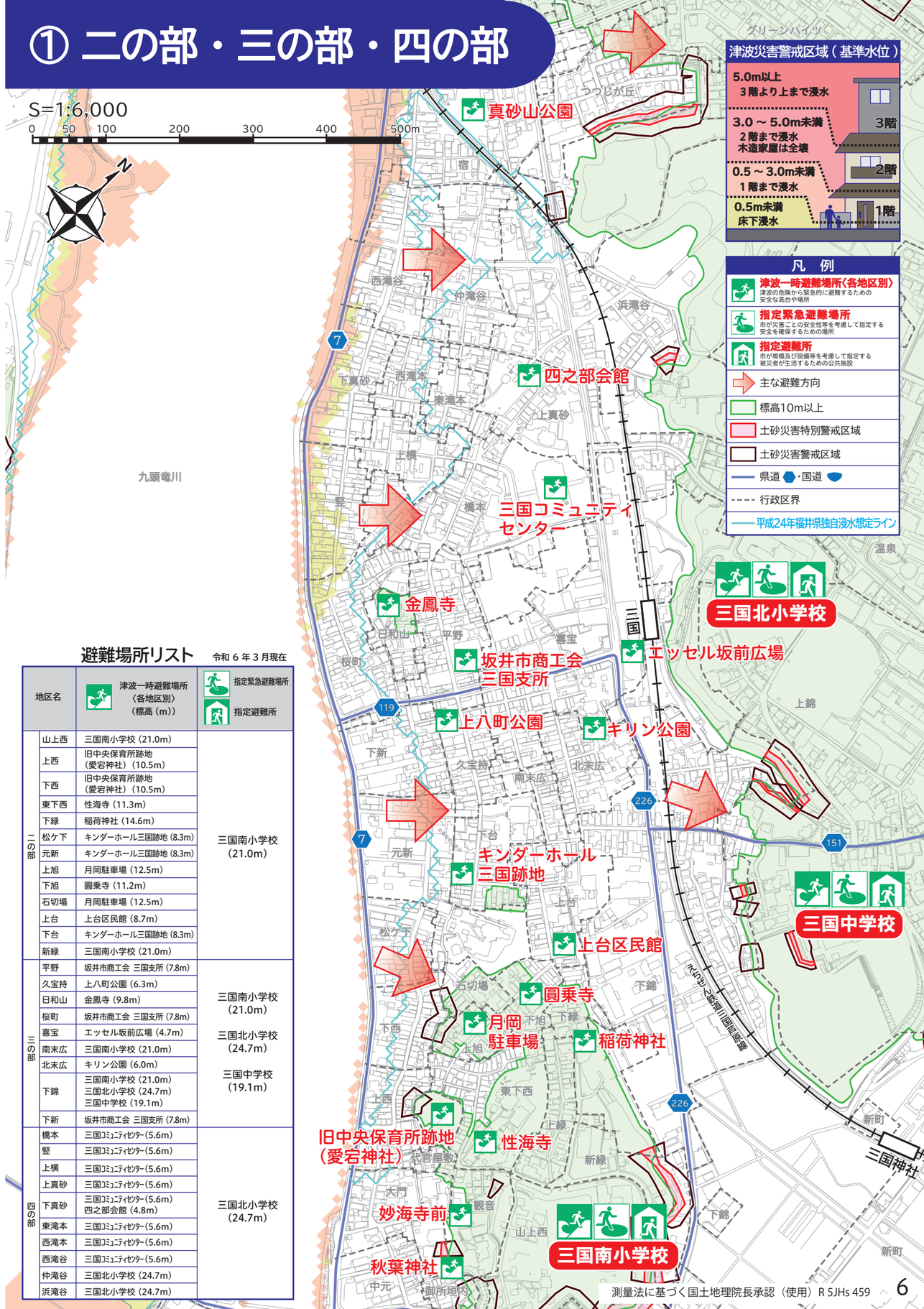
地区別もくじ

令和 6 年 3 月現在

番号	地区名	ページ
①	二の部・三の部・四の部	6 ページ
②	一の部・二の部・東部・木部	7、8 ページ
③	雄島（宿・米ケ脇）	9 ページ
④	雄島（米ケ脇・安島）	10 ページ
⑤	雄島（安島）	11 ページ
⑥	新保	12 ページ
⑦	雄島（崎・梶・浜地）	13、14 ページ
⑧	浜四郷・木部	15、16 ページ
⑨	テクノポート福井	17、18 ページ

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459

① 二の部・三の部・四の部



避難場所リスト

令和 6 年 3 月現在

地区名		津波一時避難場所〈各地区別〉（標高（m））	指定緊急避難場所 / 指定避難所
部の二	山上西	三国南小学校（21.0m）	三国南小学校（21.0m）
	上西	旧中央保育所跡地（愛宕神社）（10.5m）	
	下西	旧中央保育所跡地（愛宕神社）（10.5m）	
	東下西	性海寺（11.3m）	
	下緑	稲荷神社（14.6m）	
	松ケ下	キンダーホール三国跡地（8.3m）	
	元新	キンダーホール三国跡地（8.3m）	
	上旭	月岡駐車場（12.5m）	
	下旭	圓乗寺（11.2m）	
	石切場	月岡駐車場（12.5m）	
	上台	上台区民館（8.7m）	
	下台	キンダーホール三国跡地（8.3m）	
	新緑	三国南小学校（21.0m）	
部の三	平野	坂井市商工会 三国支所（7.8m）	三国南小学校（21.0m） 三国北小学校（24.7m） 三国中学校（19.1m）
	久宝持	上八町公園（6.3m）	
	日和山	金鳳寺（9.8m）	
	桜町	坂井市商工会 三国支所（7.8m）	
	喜宝	エッセル坂前広場（4.7m）	
	南末広	三国南小学校（21.0m）	
	北末広	キリン公園（6.0m）	
	下錦	三国南小学校（21.0m） 三国北小学校（24.7m） 三国中学校（19.1m）	
	下新	坂井市商工会 三国支所（7.8m）	
部の四	橋本	三国コミュニティセンター（5.6m）	三国北小学校（24.7m）
	竪	三国コミュニティセンター（5.6m）	
	上横	三国コミュニティセンター（5.6m）	
	上真砂	三国コミュニティセンター（5.6m）	
	下真砂	三国コミュニティセンター（5.6m） 四之部会館（4.8m）	
	東滝本	三国コミュニティセンター（5.6m）	
	西滝本	三国コミュニティセンター（5.6m）	
	西滝谷	三国コミュニティセンター（5.6m）	
	仲滝谷	三国北小学校（24.7m）	
	浜滝谷	三国北小学校（24.7m）	

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459

② 一の部・二の部・東部・木部

避難場所リスト

令和６年３月現在

	地区名	津波一時避難場所〈各地区別〉（標高（m））	指定緊急避難場所 / 指定避難所
一の部	四日市	桜谷公園（23.5m）	三国南小学校（21.0m）
	森町	三国神社絵馬堂（13.6m）	
	岩崎	岩崎公園（2.1m）	
	玉井	桜谷公園（23.5m）	
	中元	桜谷公園（23.5m）	
	大門	妙海寺前（7.3m）	
	三国東	三国南小学校（21.0m）	
	安養寺	桜谷公園（23.5m）	
	御所垣内	秋葉神社（10.6m）	
	代官屋敷	三国南小学校（21.0m）	
	観音	三国南小学校（21.0m）	
	三国東団地	三国東団地（垂直避難）（1.2m）	
二の部	汐見	三国神社随身門（15.2m） 木部小学校（2.1m）	三国南小学校（21.0m） 木部小学校（2.1m）
	殿島	三国神社随身門（15.2m） 木部小学校（2.1m）	
東部	竹松	春日神社（西側）（1.7m）	三国南小学校（21.0m）
	西今市	西今市区民館（1.7m）	
	藤沢	藤沢集落生活改善センター（1.7m）	
木部	楽円	木部小学校（2.1m）	三国南小学校（21.0m） 木部小学校（2.1m）
	請地	木部小学校（2.1m）	
	金井	木部小学校（2.1m）	

③ 雄島（宿・米ケ脇）

S=1:6,000

0 50 100 200 300 400 500m

N

避難場所リスト

令和６年３月現在

地区名		津波一時避難場所〈各地区別〉（標高（m））	指定緊急避難場所 / 指定避難所
雄島	宿	真砂山公園（8.2m） 福寿海庭園（9.1m） 春日遊園地（23.1m）	雄島小学校（77.1m）
	米ケ脇	米ケ脇公園（27.9m）	

米ケ脇公園

春日遊園地

福寿海庭園

真砂山公園

三国港

えちぜん鉄道三国芦原線

米ケ脇	
最大津波高（T.P.）※1	7.1m
最大津波到達時間　※2	31 分

※1：住宅がある主要地点における、海岸線から約 30m沖合地点での津波を東京湾平均海面（T.P.）から測った高さで最大のもの

※2：住宅がある主要地点における、海岸線から約 30m沖合地点での地震発生後から最大津波高となるまでの時間

津波災害警戒区域（基準水位）

- 5.0m 以上　3 階より上まで浸水
- 3.0 ～ 5.0m未満　2 階まで浸水　木造家屋は全壊
- 0.5 ～ 3.0m未満　1 階まで浸水
- 0.5m未満　床下浸水

3階　2階　1階

凡　例

- 津波一時避難場所〈各地区別〉　津波の危険から緊急的に避難するための安全な高台や場所
- 主な避難方向
- 標高10m以上
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 県道・国道
- 行政区界
- 平成24年福井県独自浸水想定ライン

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459

④ 雄島（米ケ脇・安島）

S=1:6,000

0 50 100 200 300 400 500m

N

避難場所リスト

令和６年３月現在

地区名		津波一時避難場所〈各地区別〉（標高（m））	指定緊急避難場所 / 指定避難所
雄島	米ケ脇	米ケ脇公園（27.9m）	雄島小学校（77.1m）
	安島	空地１（16.1m） 空地２（18.5m） 空地３（15.9m） 空地４（16.8m） 空地５（14.4m） 空地６（17.2m） 空地７（17.6m） 安島ふれあいセンター（24.3m）	

米ケ脇公園

津波災害警戒区域（基準水位）

- 5.0m 以上　3 階より上まで浸水
- 3.0 ～ 5.0m未満　2 階まで浸水　木造家屋は全壊
- 0.5 ～ 3.0m未満　1 階まで浸水
- 0.5m未満　床下浸水

3階　2階　1階

凡　例

- 津波一時避難場所〈各地区別〉　津波の危険から緊急的に避難するための安全な高台や場所
- 主な避難方向
- 標高10m以上
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 県道・国道
- 行政区界
- 平成24年福井県独自浸水想定ライン

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459

⑤ 雄島（安島）

S=1:6,000

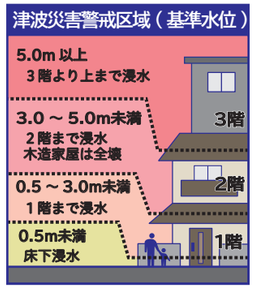
0 50 100 200 300 400 500m

N

安島付近	
最大津波高（T.P.）※1	12.2m
最大津波到達時間 ※2	29 分

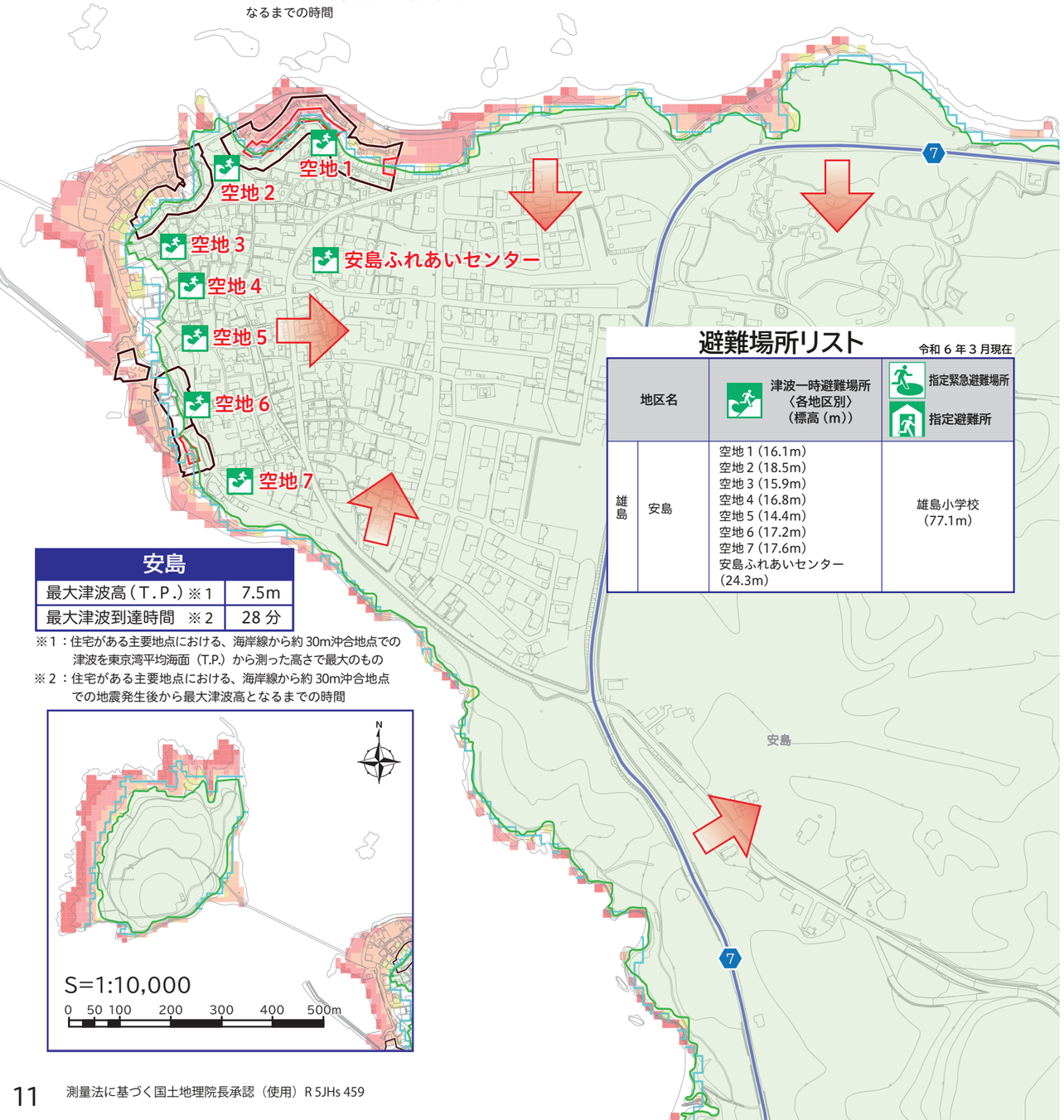
※1：市内の全海岸線における、海岸線から約 30m 沖合地点での津波を東京湾平均海面（T.P.）から測った高さで最大のもの

※2：市内の全海岸線における、海岸線から約 30m 沖合地点での地震発生後から最大津波高となるまでの時間



凡　例

- 津波一時避難場所〈各地区別〉 津波の危険から緊急的に避難するための安全な高台や場所
- 主な避難方向
- 標高10m以上
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 県道・国道
- 行政区界
- 平成24年福井県独自浸水想定ライン



避難場所リスト

令和 6 年 3 月現在

地区名		津波一時避難場所〈各地区別〉（標高（m））	指定緊急避難場所 / 指定避難所
雄島	安島	空地 1（16.1m） 空地 2（18.5m） 空地 3（15.9m） 空地 4（16.8m） 空地 5（14.4m） 空地 6（17.2m） 空地 7（17.6m） 安島ふれあいセンター（24.3m）	雄島小学校（77.1m）

安島	
最大津波高（T.P.）※1	7.5m
最大津波到達時間 ※2	28 分

※1：住宅がある主要地点における、海岸線から約 30m沖合地点での津波を東京湾平均海面（T.P.）から測った高さで最大のもの

※2：住宅がある主要地点における、海岸線から約 30m沖合地点での地震発生後から最大津波高となるまでの時間

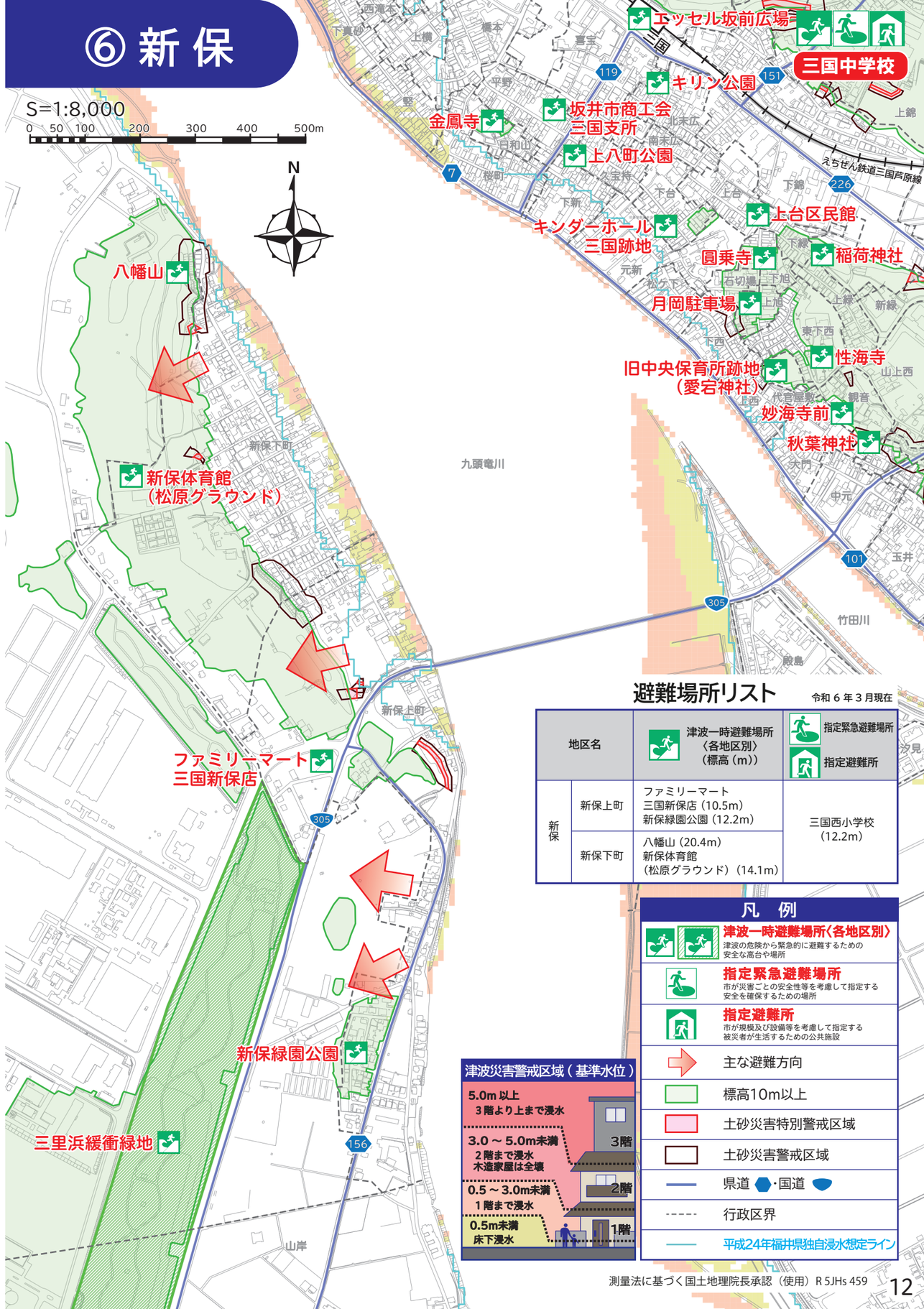
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459

⑥ 新 保

S=1:8,000

0 50 100 200 300 400 500m

N



避難場所リスト

令和 6 年 3 月現在

地区名		津波一時避難場所〈各地区別〉（標高（m））	指定緊急避難場所 / 指定避難所
新保	新保上町	ファミリーマート三国新保店（10.5m） 新保緑園公園（12.2m）	三国西小学校（12.2m）
	新保下町	八幡山（20.4m） 新保体育館（松原グラウンド）（14.1m）	

凡　例

- 津波一時避難場所〈各地区別〉 津波の危険から緊急的に避難するための安全な高台や場所
- 指定緊急避難場所 市が災害ごとの安全性等を考慮して指定する安全を確保するための場所
- 指定避難所 市が規模及び設備等を考慮して指定する被災者が生活するための公共施設
- 主な避難方向
- 標高10m以上
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 県道・国道
- 行政区界
- 平成24年福井県独自浸水想定ライン

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459

⑦ 雄島（崎・梶・浜地）

S=1:6,000

0　50　100　200　300　400　500m

N

崎	
最大津波高（T.P.）※1	10.2m
最大津波到達時間　※2	29 分

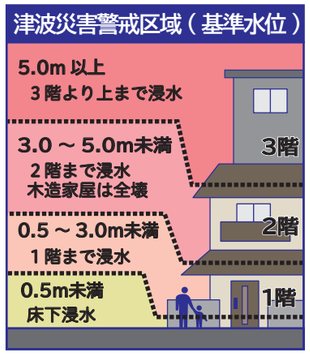
※1：住宅がある主要地点における、海岸線から約 30m沖合地点での津波を東京湾平均海面（T.P.）から測った高さで最大のもの

※2：住宅がある主要地点における、海岸線から約 30m沖合地点での地震発生後から最大津波高となるまでの時間

梶	
最大津波高（T.P.）※1	7.6m
最大津波到達時間　※2	30 分

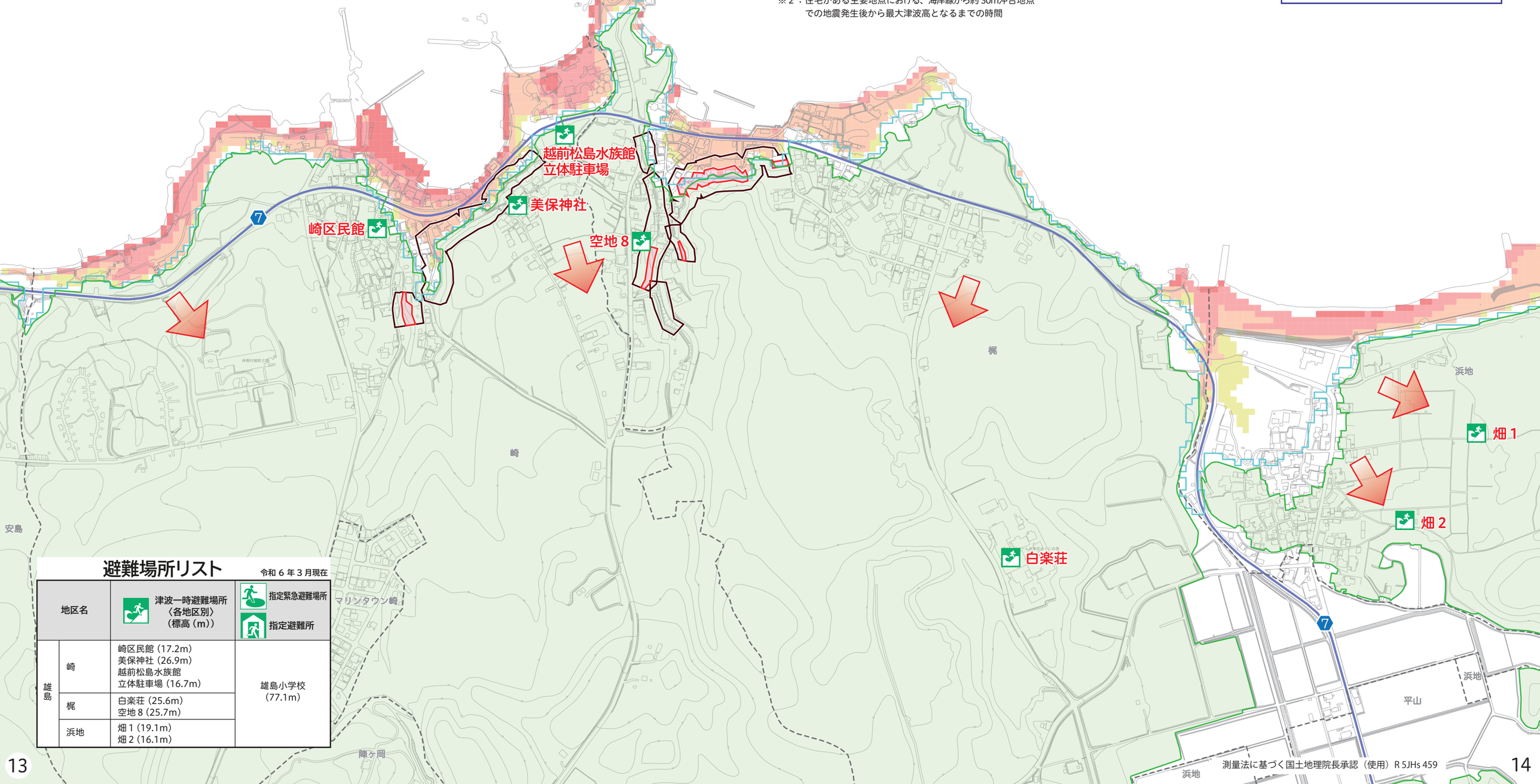
※1：住宅がある主要地点における、海岸線から約 30m沖合地点での津波を東京湾平均海面（T.P.）から測った高さで最大のもの

※2：住宅がある主要地点における、海岸線から約 30m沖合地点での地震発生後から最大津波高となるまでの時間



凡　例

- 津波一時避難場所〈各地区別〉 津波の危険から緊急的に避難するための安全な高台や場所
- 主な避難方向
- 標高10m以上
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 県道・国道
- 行政区界
- 平成24年福井県独自浸水想定ライン



避難場所リスト

令和 6 年 3 月現在

地区名		津波一時避難場所〈各地区別〉（標高（m））	指定緊急避難場所 / 指定避難所
雄島	崎	崎区民館（17.2m） 美保神社（26.9m） 越前松島水族館 立体駐車場（16.7m）	雄島小学校（77.1m）
	梶	白楽荘（25.6m） 空地 8（25.7m）	
	浜地	畑 1（19.1m） 畑 2（16.1m）	

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459

⑧ 浜四郷・木部

S=1:9,000
0 100 200 300 400 500m

N

横越集落生活改善センター

三国西小学校

木部小学校

九頭竜川

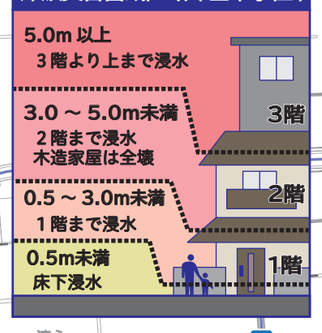
横越
下野
山岸
西野中
下野
折戸
木部新保
池見
川崎
石丸
高柳
今井
清永

156
155
20
103
106
154

凡　例

- **津波一時避難場所〈各地区別〉**
  津波の危険から緊急的に避難するための安全な高台や場所
- **指定緊急避難場所**
  市が災害ごとの安全性等を考慮して指定する安全を確保するための場所
- **指定避難所**
  市が規模及び設備等を考慮して指定する被災者が生活するための公共施設
- 主な避難方向
- 標高10m以上
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 県道・国道
- 行政区界
- 平成24年福井県独自浸水想定ライン

津波災害警戒区域（基準水位）



避難場所リスト

令和 6 年 3 月現在

地区名		津波一時避難場所〈各地区別〉（標高（m））	指定緊急避難場所 / 指定避難所
浜四郷	横越	横越集落生活改善センター（2.7m）	三国西小学校（12.2m）
	下野	三国西小学校（12.2m）	
	西野中	三国西小学校（12.2m）	
	山岸	三国西小学校（12.2m）	
木部	川崎	木部小学校（2.1m）	三国南小学校（21.0m） 木部小学校（2.1m）
	池見	木部小学校（2.1m）	

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459

⑨ テクノポート福井

S=1:15,000

0 100 200 400 600 800 1,000m

津波災害警戒区域（基準水位）

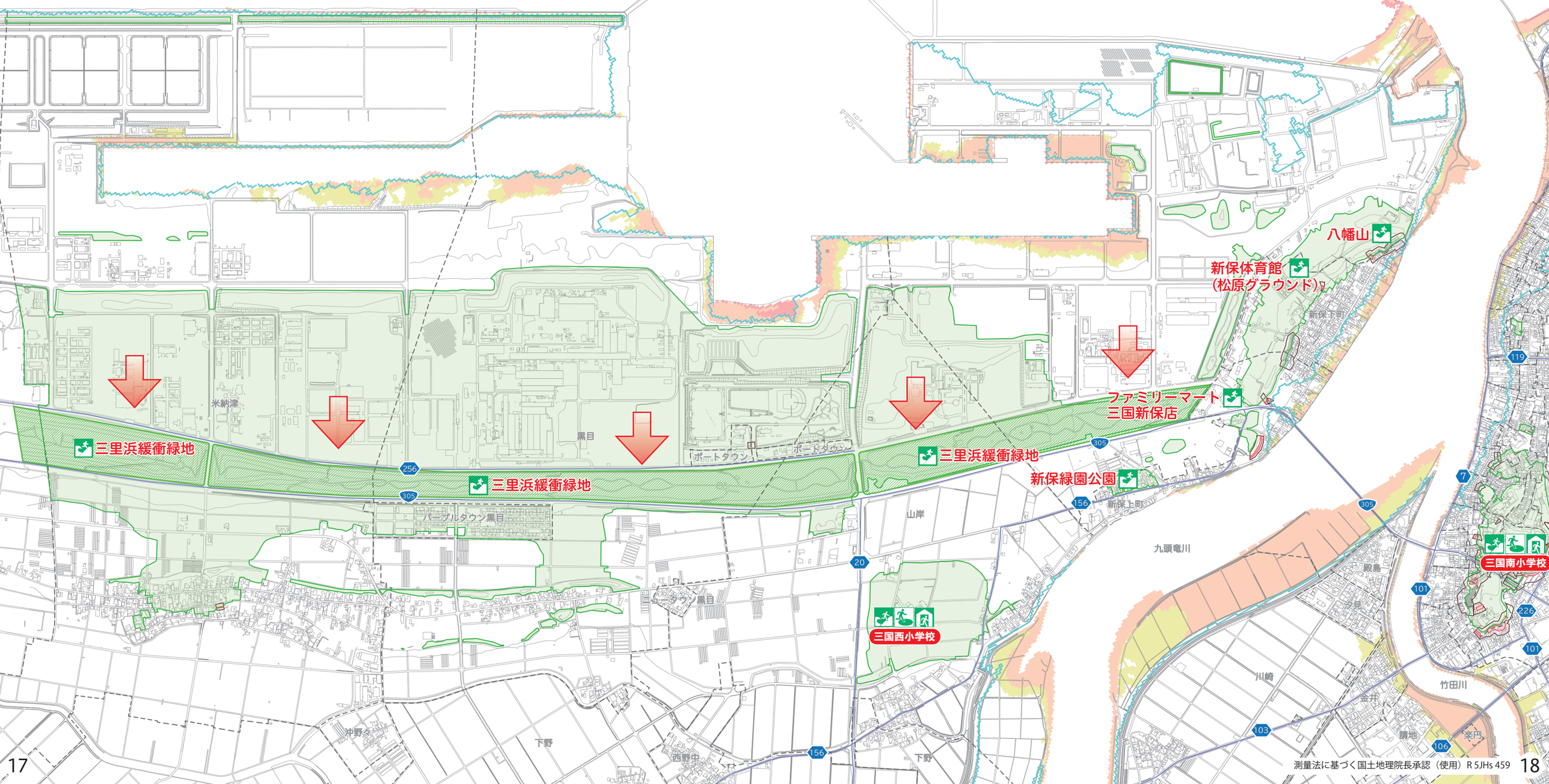
- 5.0m以上　3階より上まで浸水
- 3.0～5.0m未満　2階まで浸水　木造家屋は全壊
- 0.5～3.0m未満　1階まで浸水
- 0.5m未満　床下浸水

3階　2階　1階

平成24年福井県独自浸水想定ライン

凡　例

- 津波一時避難場所〈各地区別〉　津波の危険から緊急的に避難するための安全な高台や場所
- 指定緊急避難場所　市が災害ごとの安全性等を考慮して指定する安全を確保するための場所
- 指定避難所　市が規模及び設備等を考慮して指定する被災者が生活するための公共施設
- 主な避難方向
- 標高10m以上
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 県道・国道
- 行政区界



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 459